

選択されたシナリオのチェック ~ 意見整理表の回答傾向との整合

下表は、前回(第4回会議)で使用した意見整理表の設問について、4つのシナリオはどのような立場をとるかの関係を整理したものです。

前回会議で使用した意見整理表の設問 取り組み・対策の方向(関係するシナリオ)		前回の回答結果(2回目)					設問とシナリオとの関係 シナリオ A
		1とても反対	2やや反対	3やや賛成	4とても賛成	5わからない	
1. 分別区分が「ごみ」か「資源ごみ」かに関係なく不要なものがでないように、消費行動や生活様式を改めること		0	0	10	15	0	賛成 (発生抑制を進める立場)
2. 価格が上がっても、環境に配慮された製品(リサイクルしやすいものなど)を、普及させること		0	2	10	13	0	賛成 (ごみとなる前段階の取組み)
3. 発生抑制のための買い物・消費行動	飲料容器をリターナブルビンに統一すること	0	1	14	7	1	賛成 (ごみとせず繰り返し利用)
	買い物をするとき、レジ袋が有料で販売されること	1	1	7	16	0	賛成 (購入時にリサイクル費用を支払)
	買い物をするとき、ばら売り・量り売りのお店を使い、適量購入を進めること	1	0	12	12	0	賛成 (ごみとなる前段階の取組み)
4. 生ごみ	生ごみは、「燃えるごみ」とするのではなくリサイクルするため、各家庭で分別すること	0	2	11	12	0	賛成 (生ごみリサイクル推進は共通のテーマ)
	生ごみリサイクルをする場合には、家庭や地域でできることを優先して取り組むこと。	0	6	8	10	0	賛成 (自主的取組)
	生ごみリサイクルは、名古屋市全体でリサイクルのみちを作り、家庭や地域になるべく負担をかけない方法ですめること。	0	4	9	10	1	
5. 容器包装以外のプラスチック類	容器包装以外のプラスチック類は、「不燃ごみ」とするのではなく、リサイクルするため分別すること	0	0	10	15	0	賛成 (民間主導でリサイクル)
	容器包装以外のプラスチック類は、焼却しエネルギーとして利用できるようにする(発電することなど)こと	1	4	7	11	1	
6. 事業系ごみ削減のための取組を強化すること		0	0	8	17	0	賛成 (特に中小企業を対象としたリサイクル推進は共通のテーマ)
7. ごみの有料化	ごみを減らすため、ごみの有料化を進めること	1	4	14	2	2	賛成 (発生抑制)
	ごみを減らすため、ごみの有料化よりも、ごみ・資源の分別区分を守る指導の徹底を優先すること	0	6	9	9	0	
	発生抑制を進めるため、資源ごみの有料化も進めること	4	4	13	3	1	商品の購入時にリサイクル費用を支払
8. 焼却	埋立量を減らすため、燃えるごみは焼却すること	0	6	12	5	1	発生抑制とリサイクルを進めることで焼却量や埋立量を減らす(焼却量や埋立量はC・Dより少ない)
	環境影響を減らすため、リサイクルやごみ減量の推進によって焼却を可能な限り減らすこと	1	2	9	13	0	
9. 環境への影響を考えたときに、二酸化炭素の排出量の削減をもっとも重視すること		0	1	11	11	1	シナリオは、二酸化炭素はもちろん、ごみや資源の量、埋立量、処理やリサイクルにかかる費用など、種々の要素を重視
10. 埋立量をさらに減らすこと		0	0	12	8	2	賛成 (さらなる埋立量の減量は共通のテーマ)
11. 取組主体	ごみの処理・資源化のルールなどは、行政が市民の意見を聞いて決め、市民はそれを理解し協力すること	0	3	11	10	0	
	市民・NPO・事業者等がもっと主体的に資源化のルールや処理の仕組みづくりに参画し行動していくこと	1	4	10	10	0	賛成 (市民・事業者等が主体的に参画・協働)
12. (自由記入)ごみ分別細分化							
13. (自由記入)分別緩和							しみの主体的な協議により“緩和”とすることも可
14. (自由記入)ごみにならない製品作り							賛成(設問2と関連)
15. (自由記入)教育							賛成(教育の推進は共通のテーマ)
16. (自由記入)リース・レンタル							賛成(繰返利用や機能のみをかうことでごみとしない)
		1とても反対	2やや反対	3やや賛成	4とても賛成	5わからない	

選択されたシナリオのチェック ~ 他のシナリオで用いられている要素との比較

下表は、シナリオを構成している各要素が、4つのシナリオにどのように対応しているかを早見表として整理したものです。

		シナリオの要素	シナリオ A	シナリオ B	シナリオ C	シナリオ D
基本の考え	取組みテーマ	発生抑制の推進				
		リサイクルの推進				
	取組み体制	市民・事業者の自主的な参画と実践				
		行政主導の施策展開と市民・事業者等の理解・協力				
生産で	環境に配慮した製品づくり	自主的に展開！				
		ルール化！（条例等）				
販売で	適量販売(ばら売り・簡易包装等)	販売店や消費者が自主的に展開！（協定当）				
		ルール化！（条例等）				
買い物で	適量購入	自主的にマイバック持参！（販売店との協定など）				
		適量購入やマイバック持参をルール化！（条例等）				
ごみは	処理体制	行政による適正処理（税金を財源にした施設整備・運営）				
		排出者が選択！（例:家庭ごみも業者収集）				
	収集頻度や排出時間など	ルール化！（現状と同様）				
生ごみは	減らす	無駄のない料理実践！				
	リサイクル	自分ができる・したい方法を選択！ ・自家や地域で堆肥化 ・堆肥化業者へ引渡し ・全市でリサイクル ・可燃ごみ(有料) など 新たな資源品目として分別収集・リサイクル！ 税金を財源とする施設を市が整備・運営！				
レジ袋は	減らす	原則使用しない、欲しい人は有料！（販売店と市民の協定等）				
		原則使用しない、欲しい人は有料などをルール化！				
	リサイクル	企業サイドによる回収とリサイクル！（費用は購入時に支払）				
		市がプラ容器包装包装として分別・リサイクル！（容器包装リサイクル法）				
容器包装以外のプラスチック製品は	減らす(修理)	企業サイドで対応				
		企業サイドに義務化				
	リサイクル	企業サイドによる回収とリサイクル！（費用は購入時に支払）				
		新たな資源品目として分別収集・リサイクル！（全市共通） 税金を財源とする施設を市が整備・運営！				
飲料容器は	減らす(リターナブル化)	企業サイドで対応				
		企業サイドに義務化				
	リユースリサイクル	企業サイドによる回収とリユース！（費用は購入時に支払）				
		市が分別収集・リユース！（全市共通） 税金を財源とする施設を市が整備・運営！				
費用負担は	ごみ	有料排出				
		有料排出または指導徹底を選択				
	資源	リサイクル費用を企業サイドに支払(購入時)				
		有料排出				
教育・人材育成は	テーマ	価値観・生活(事業)様式の変更と実践				
		分別・リサイクルの徹底				
	推進の方法	すべての“しみん”が自主的に展開・協働				
		行政が主導的に展開(市民・事業者は理解・協力)				